

人文社会科学部後援会事業報告書

申請・報告者氏名： 付 月

事業区分：保護者との連携事業 学生の教育研究活動支援
学生の就職活動支援 学生の地域貢献
学生の生活向上 その他

対象学年：1年次 2年次 3年次 4年次

参加学生数： 3 人

報告内容・使用経費：

【日時】 2019年8月30日（金）

【事業概要】

国際法ゼミナールでは、日本と世界におけるさまざまな人権問題の過去と現在を見つめ、あるべき未来について考えるために、毎年取り組むテーマを決めて勉強しています。座学だけでなく、資料館や博物館に赴いてビジュアル資料等を見学し、当事者の話を聞くなどの実地学習も行っています。

今年度は、日本における難民問題及び日本軍「慰安婦」問題について学ぶために、事前勉強を行なった上で、下記の実地学習を行った。①1990年代はじめに来日し、難民（ミャンマー出身）として認定されたチョウチョウ・ソーさんご夫妻のレストラン（東京・高田馬場）を訪ね、難民認定までの「法的な壁」についての話を伺った。②戦時性暴力、「慰安婦」問題の被害と加害を伝える日本初の資料館「アクティブ・ミュージアム女たちの戦争と平和資料館」（東京・高田馬場）を訪問し、数々の日本軍元「慰安婦」の証言をはじめ、現在に続く「慰安婦」問題に関する貴重な資料を調査・収集した。なお、本実地学習に当たって、早稲田大学の大学院生にもご協力いただいた。

経費： 10,500 円

内訳：交通費補助 3,500円×3名＝10,500円

